

い形に復して置く。方畫中に收めた文字は原本の殘畫を他書に參照し、意を加へて補つたものである。各行の字數はすべて原本に據り、五行毎に附した數字は便宜の爲に余の加へたものである。

1 異物志云漢貳師將軍

駒以歸愍而放之來至

以爲龍勒泉

飲此水鳴噴宛轉廻旋而去

5 因此 堆堆?似龍頭亦以爲名

壽昌海縣 渥洼水 屈曲周廻一里餘深淺不測漢得天馬處也

大渠 縣南十里源 長 渠 石門 澗 源自縣南三里 無鹵澗 源縣西南十里

石城鎮東去沙州一千五百八十里去上都六千一百里 本漢樓

蘭國漢書西域傳云地沙鹵少田出玉傳介子既殺

10 其王漢立其第(弟之訛)更名鄯善國隋置鄯善鎮隋亂其

城遂廢貞觀中康國大首領康艷典東來居此城

胡人隨之因成聚落亦曰典合城其城四面皆是沙磧 上元二年

改爲石城 鎮隸沙州 屯城西去石城鎮一百八十里鄯善質子尉屠耆

歸單弱請天子國中有伊循城々肥美願遣一將屯田

唐光啓元年書寫沙州・伊州地志殘卷に就いて